



山田 良秋 議員

学校統合問題は町づくりと一体に考えるべきだ

問 小中一貫校設置計画について(1)白紙表明に至った要因と経緯は。(2)今後の方向性は。

答 町長 (1)この事業は、2017年8月教育委員会の諮問を受け、小中学校適正規模等検討委員会にて議論が始まり、その検討委員会の答申を2019年2月に教育委員会が受け、2020年2月に学校適正規模等基本計画を策定し、総合教育会議において承認された。それに基づいて小中一貫校開校準備委員会を設置し現在に至っている。議会では、2019年の第4回定例会において小中一貫校新設調査特別委員会を設置し、本格的に調査し始めた。それは「これだけの大事業にもかかわらず、議会がほとんどかかわることもなく、決定事項を聞かされるだけでいいのだから」という疑問を議員一人ひとりが抱いていて、「この状況をそのまま放っておくべきではない」との思いからこの委員会を立ち上げたものと理解している。そして、昨年の第3回定例会以来、教育委員会と共に区長会、民生委員の会議、PTAの役員会等においてこの小中一貫校の事業につ

小中一貫校設置計画を白紙に戻した要因は議論をスタートさせる段階で、手続き上不十分な点があった

浸透していないことが実感された。更に、議会報告会、また、第2次嵐山町都市計画マ



嵐山町の小中学校=町のホームページから

タープランに対するパブリックコメントを讀ませていただく中で、その議論をスタートする段階において不十分な点があったことを認めざるを得ないという考えに至り、一旦立ち止まる決断をさせていただきました。

再問 白紙に戻した状態の議論のスタートということが。

再答 町長 そのとおりだ。ただし、今まで積み上げてきたものは参考にする。



山田 良秋 議員

若者の逞しさを感じます

問 嵐山町の外国人の国別人数は。

答 町民課長 24か国で、585人である。国別では、ベトナム276人、ブラジル101人、中国77人、フィリピン30人、韓国18人、インドネシア14人、ネパール14人、タイ11人、他の国は一人人数である。

問 行政の窓口対応は充分か。

答 町民課長 日本語がわからない方には筆談やスマートフォンでの翻訳機能や県配布の「外国人の生活ガイ

行政ほかで様々な対応をしている

「6ヶ国語」を活用している。

再問 役場で町長他に英語が堪能なものはいるか。

再答 町民課長 英語が堪能職員もいる。その職員の対応も可能である。

問 外国出身者の方と地域との交流は取り組んでいるか。

答 教育委員会事務局 長 嵐山町国際交流協会による能力別日本語教室の開催や交流センターを利用している。調理解教室、夏祭りの参加等実施して交流を深めている。嵐山まつりの際には鎧武者に扮して頂いて、日本文化を体験、交流を深めている。

ワクチンについて

問 新型コロナウイルス対策、ワクチンの保管方法は。

答 健康いきいき課長 国より超低温冷凍庫が町に2台割り当てられ、1台目は嵐山郷に、2台目は健康増進センターに配送されワクチンを管理する予定である。

問 ワクチン接種の方法は。

答 健康いきいき課長 4月以降に接種開始できるよう準備を進めている。接種場所については、医療機関とふれあい交流センター集団接種を検討中である。対象者は、町内在

住の16歳以上を予定している。ワクチン接種の啓発は、広報3月号で行った。併せて、接

種対象者への通知や町のホームページに掲載する。



1日の仕事お疲れさま=R3.3.8